

はしもと まさし

橋本 雅至先生 (大阪河崎リハビリテーション大学 教授)



【専門領域】

- ・運動器傷害の理学療法
- ・スポーツリハビリテーション
- ・病態運動学
- ・動作解析
- ・バイオメカニクス
- ・運動生理学

【主な著書】

- ・『歩行を診る - 観察から始める理学療法実践』(共著, 文光堂, 2011, p390-426)
- ・『実践PTノート 運動器傷害の理学療法』第2版 (共著, 三輪書店, 2011)
- ・『スポーツ傷害の理学療法 理学療法MOOK9』第2版 (共著, 三輪書店, 2009, p71-82)
- ・『理学療法士臨床判断フローチャート』(共著, 文光堂, 2009, p52-61)
- ・『アスリートケアマニュアル ストレッチング』(共著, 文光堂, 2007, p248-287)

【主な論文】

- ・高校サッカー選手の運動時腰痛発生について 股関節可動性と周囲筋タイトネスの検討 . 日本臨床スポーツ医学会誌, 21(1) : p5-10, 2013 (共著)
- ・高校サッカー選手の腰痛予防に対するコアエクササイズの効果 . スポーツ傷害, 17 : p44-47, 2012 (共著)
- ・荷物の運び下ろし動作の運動解析 - 荷物の重さの違いが身体運動に及ぼす影響 - . 臨床バイオメカニクス, 32 : p353-359, 2012 (共著)
- ・生涯学習システムと専門理学療法士について . 大阪府理学療法士会誌, 37 : p6-13, 2009 (共著)
- ・スポーツ傷害に対する理学療法戦略 . 理学療法学, 34(4) : p152-153, 2005 (共著)

【国内学会】

- ・サッカー選手における第5中足骨折労骨折の動作解析 . 第39回日本臨床バイオメカニクス学会, 2012.11 (共同発表)
- ・大学アメリカンフットボール選手におけるSide bridge test と体幹筋力の関係 . 第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012.11 (共同発表)
- ・Critical illness polyneuropathy をきたした1例に対して訪問リハビリテーション介入により復職可能となった経験 . 第24回大阪府理学療法学会学術大会, 2012.7 (共同発表)

・デジタルカメラによる体幹可動域の測定法の一検討．第22回関西臨床スポーツ医・科学研究会，2012.6（共同発表）

【国際学会】

・Risk factors of stress fracture of the fifth metatarsal bone in university soccer players．American College of Sports Medicine, 16th Health & Fitness Summit & Exposition，Los Vegas，2012.5（共同発表）

・Effects of different pedaling rates on muscle activity of lower extremity and crank torque during constant work rate pedaling．The 18 Congress of the International Society of Electrophysiology and Kinesiology，Aalborg Denmark，2010.6（共同発表）

・Relationship between stress fracture of the 5th metatarsal and physical factors in college soccer players．The 5th Asia-Pacific Conference on Exercise and Sports Science，APCESS 2011，Shanghai，2003.5（共同発表）

【想い】

教科書や参考書に無いような臨床現場の感性を持ちながら、皆さんと関わっていきたいと思います。資格を取得する目標と医療やスポーツ現場にて結果を追及する理学療法士を育成したいと考えています。対象者にしっかりと関わり、探究心をもった研究活動への参加を通じて理学療法士の可能性を一緒に探りませんか？本人次第ではますます広げることができそうです。人の幸せを共感できる人になってほしいと思います。